

HOTEL SPA-MU

●●●●●● 季刊 2019.04~06 ●●●●●●

No.53

答えがお解りになりましたらフロントへご連絡いただき、メンバーズNo.と間違い部分をお知らせください。
全問ご正解されたメンバー様には粗品をプレゼントさせていただきます。

SPA-MU
暇つぶし間違い探しクイズ
(メンバー様限定) (1回正解まで)



正解イラスト



間違いイラスト

間違いは7箇所です

SPA-Mu パネルクイズ アタック21

4月25日～6月30日迄

(メンバー様限定)

スパムでパネルクイズにチャレンジしてみよう!



全21室にそれぞれ別の21枚のパネル写真があります。そのパネルから連想できる名称をお答えください。
例) 末尾2の部屋(202、302、402、502)には4種類のパネルがあります。4部屋4枚全てのパネルを見て答えても1部屋目の1枚で答えてもOKです。

答えを連想したメンバーさまはお手数ですがフロントまでご連絡ください。ご正解のメンバーさまには賞品を差し上げます。

- スパムメンバー登録が必要です。(メンバーズカードを精算機に差し込んだ後にご連絡ください)
- 1回のご利用につき、その場で1回のご解答チャレンジとさせていただきます。(回数蓄積はできません)
- ご宿泊利用のお客さまに限り、アタックチャンス!が生じます。

フロントへご連絡くださった際に、ご宿泊チャレンジ優遇のアタックチャンス!をご案内いたします。

- 1グループ問題1賞品進呈とさせていただきます。解答A～解答Eまで計5個の賞品獲得チャンスがあります。

101	201	301	202	302	203	303	205	305	206	306
401	501	402	502	403	503	405	505	406	506	
↓ 連想		↓ 連想		↓ 連想		↓ 連想		↓ 連想		
解答A		解答B		解答C		解答D		解答E		
賞品		賞品		賞品		賞品		賞品		

※正解発表は7月初旬、各パネルの説明とともに、オフィシャルサイトに掲載いたします。

SPA-Mu

知っ得情報

今回のプレゼントはお馴染み
フェイスマスクの人気商品“MOIS”シリーズです♪

同等品と比べて多めの25mlもの美容液を含ませた
おススメの商品です。

ご用意したバリエーションは6種類!
カタツムリ(ハリツヤ肌)、コラーゲン(保水肌)、
プラセンタ(整肌)、パール(明るいキメ肌)、
ローヤルゼリー(柔肌)、ヒアルロン酸(潤肌)



4月15日から先着3600組さま限定のプレゼントです。
お部屋の洗面所にご用意させていただきました。何が当たるかはお楽しみ!!
なくなり次第終了となりますのでお早めどうぞ!

Food & Service フード&サービス

4月からグランドメニューが春夏バージョンになります



わっぱめし & さつぱり麺

4月中旬からは…



北海五目わっぱめし



竹の子と鶏つくねのわっぱめし



冷たい茶そばサラダ

※詳しくは机の上のポップをご覧ください。

韓国フェア (6月中旬~)

※他にもまだございます。
机の上のポップをご覧ください。



冷麺



石焼ビビンバ



トッポギ



凡人 コラム

新しい元号誕生に日本的精神の古層を考える

五月一日、いよいよ新元号による新しい時代の幕開けです。
このコラムは三月下旬に入稿していますので、四月一日に政府から発表される新元号の名称はわからないのですが、長いお付き合いになりそうです。

改元を機に、今回の記事では天皇制が日本人の精神にどのように関与してきたのかについて考えてみたいと思います。制度にかんしては賛否あるかと思いますが、その是非について論じるものではないことを最初にお伝えしておきます。

皆さんご存知のとおり、日本の天皇制は世界最古・世界最長で新天皇陛下が126代目にあたります。国際的権威としては最も高く、エリザベス女王やローマ法王、各国王室が臨席される際、常に最上席へと招かれます。



ところで、日本人は古来より普遍的な正反の価値基準を定めることはありませんでした。西洋では古代ギリシア時代より、理性による永遠不変の真理を追求してきましたし、インド文明も同様です。日本の場合は、その時代のその時の具体的な事象について、個々人の「道理」によって正反を判断してきた。日本の道理は「理屈」でなく清い心の「情」によるものとした。これは日本倫理学の定説です。

絶対的な善悪価値基準がないなか、唯一のよすがとしたのは天皇の血統的持続性です。
以下、倫理学者の相良亨(1921-2000)の著書より引用します。

天照大神と今の天皇を結ぶ線上の天皇のみを正統の天皇とする考え方自体が、そもそも、子孫の持続によってその天命性・正理性を見る発想をふまえるものであった。(中略)単なる子孫の持続ではなく、“今への持続”であるということである。(中略)今への持続は、また開かれた未来への持続を意味することになる。限られた持続ではなく、今への持続は、いわば無窮の持続をもたらした優秀性としての評価である。(中略)

「益」ある手段的方法としての天皇の血統的持続は、むしろ大局的な平和の持続の基軸的な意味をすらもってことになる。(中略)無窮の持続を善とする思考は、変革を否定するものでなく、むしろ、常なる適応としての変革を通しての無窮の持続である。(相良亨『日本人の心』)

日本人は合理的に効率よく生きることを求めず、合目的なゴールも定めず、常に「今」を生きてきました。「今」と過去の繋がりにかんしては天皇の血統的持続を基軸とした。天皇はその名が示すとおり「天」を司る神であり、よって、森羅万象に不吉がことが起れば、同じ天皇下であっても元号を変更しました。「大化」から「平成」まで元号は247あります。

歴史上では天皇をめぐる様々な出来事がありましたが、特に近代においては明治から昭和にかけて天皇崇拜主義が強くなり、江戸時代の徳川将軍家に忠誠を誓った武士的風習の名残りなのか、政治主導の下、全国民が天皇に忠誠を誓う風潮になりました。この点を丸山真男が批判しています。

徳川時代にはまだしも分散していた権力・栄誉・富・尊敬などもろもろの社会的価値を、急速に天皇制ピラミッドの胎内に吸収し、忠誠競合の可能性をもつライバルからその牙をつぎつぎと抜きとりながら、ネーションへの忠誠を組織(官僚制)への忠誠へ、さらに組織への忠誠を神格化された天皇への忠誠に合一化して行った。(丸山真男『忠誠と反逆』)

天皇に忠誠を誓わなければ非国民、国賊と呼ばれる時代がありました。

さて、日本人は持続に価値を置いた割には新しいことが大好きで、街や建築物も古いものをどんどん壊し新しいものに変えていく進取の気風です。ヨーロッパのように歴史を大切にしない。過去はさっぱり水に流す。持続性と切り捨てる潔さの矛盾の許容はなぜか。上記引用の相良亨の師であった和辻哲郎は、日本人の精神性を受容的・忍従的な「モンスーン型」だと評します。

大雨と大雪との二重の現象において日本はモンスーン域中最も特殊な風土をもつのである。(中略)四季おりおりの季節の変化が著しいように、日本の人間の受容性は調子の早い移り変わりを要求する。(和辻哲郎『風土』)



四季おりおりと言っても台風や地震が頻繁に起きる災害列島が日本です。木造家屋の密集地は火災にも弱く、災害のたびに家々は倒壊し、それでも精神を折らずに何度でも造り直すのが日本人気質です。
この精神の古層に無窮の持続性を具えた天皇制がある。頼るものがある。

分析心理学によれば意識が「光」であり、光によってできた真逆の性質を持つ「影」が無意識に反映され、その無意識が意識を支えるといえます。

日本人の場合は天皇制という無窮の持続性が無意識に支えとしてあるため、自由に、のびのびと新しいことに取組めると、そう考えることができるのではないのでしょうか。